

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2010年4月22日 No127
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

2010年度県原水協総会と壮行会ひらく

岡山県原水協は4月17日、岡山市の国際交流センターで2010年度総会と、NPT再検討会議要請行動参加岡山県代表団の壮行会をおこないました。

会議には20の組織、3つの地域原水協から70名が参加しました。総会は目前に迫ったNPT再検討会議要請行動に参加する代表も参加のなかで、「核兵器のない世界を」署名の取り組みの教訓を明らかにし、到達点を確認、目標達成まで全力を上げて奮闘する決起の場になりました。

討論では市民の40%の署名を集めた笠岡の取り組みを樋之津倫子市議が発言、参加者の感動を集めました。水島原水協の早川さんは4名の代表派遣で「送りだす会」取り組みの運動を、PPO



上・総会の模様、左・発言する樋の津、早川、福田、(左からの皆さん) 4/17 岡山国際交流センター

の福田さんは青年独自で1800筆と30万円募金を達成した取り組みを発言しました。また、川中原爆症訴訟について支える会の森田さんが「5月25日の判決に向けてさらに支援を」と訴えました。

総会は平和行進の成功と、今年の原水爆禁止世界大会・広島に300人の代表派遣を送る方針などを決定しました。

「核兵器なくせの思いを国連に届けます」

森脇団長が決意表明

総会のあと引き続きNPT再検討会議要請行動岡山県代表団の壮行式が行われました。

壮行式には県代表29人のうち27人が参加しました。県労花田議長、林県民医連会長、藤内岡山医療生協理事から激励の言葉をいただき、代表団の森脇久紀団長(共産党県議)が「県民の皆さんの核兵器廃絶の熱い思いを国連にしっかり届けてきます」と決意をのべました。

(右・代表団を代表して決意を述べる森脇団長)



NPTにむけた意思統一はかる 日本原水協常任理事会開く

日本原水協は4月19、20日の両日、東京で大291回常任理事会を開催しました。会議には全国45都道府県から52名の代表と、15名の中央組織代表、個人理事など77名が参加しました。

会議は差し迫ったNPT再検討会議要請行動の成功のための意思統一と、NPT後の運動、世界大会などについて議論されました。

NPTにむけ600万を超える署名が急速に集まり、「私たちの運動が世界を変える」という草の根の力を国連に届けようと各地の教訓が報告されました。討論のまとめで高草木事務局長は「この運動が、歴史に残る『意味のある運動』だったと総括できるよう頑張ろう。1200万目標の追及と報告活動の重視を」と訴えられました。